

作並小学校に関する地域懇談会ニュース

第2回地域懇談会を開催しました

地域の代表者や保護者で今後の作並小学校のあり方について話し合う地域懇談会（2回目）を9月5日に開催しました。

今回は、「地域コミュニティと学校統合」をテーマに、統合を想定して、今後の教育環境や地域活動について教育委員会から説明を行った後、意見交換を行いました。

当日の概要について「ニュース」にまとめましたので、学区内にお住いの皆様へお知らせします。



平成30年9月5日(水)18:30~20:00
会場：作並小学校2階 音楽室

1. 教育委員会からの説明「地域コミュニティと学校統合」

前回の懇談会では、「統合に伴う地域課題を整理する手立てや道筋を示してもらいたい」といったご意見を頂きました。そこで、今回の懇談会では統合することを想定して、「統合までの流れ」や統合した場合には「子供たちの教育環境」がどう変わるのか、「地域活動継続」のために必要なことは何か、などについて教育委員会から説明を行いました。

想定される統合までの流れ

図1は学校を統合する場合に想定している流れです。今年度は協議の期間にあたります。協議において統合の判断となった場合には、準備の期間に移行します。準備の期間は1年間を想定しており、統合する学校の歴史や伝統などを引き継ぐ新しい学校を創る準備、児童の円滑な学校生活開始に向けた準備などを進めます。このような協議、準備を経て統合後の新しい学校が始まります。

図1

協議の期間	準備の期間	新たな学校・地域の始まり
<ul style="list-style-type: none"> ○現状把握 ○これからの学校のあり方の協議 ○地域課題の整理と共有 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい学校づくりに向けた準備 ○新しい学校生活に向けた児童の準備(事前交流) ○地域活動継続に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい学校の始まり ○児童の新しい学校生活の始まり ○地域と学校の新しい始まり ○地域活動の継続と始まり

統合した場合の教育環境

学校が統合すると、作並小の子供たちは統合先の子供たちと新たな学校生活を送ることとなります。新たな学校生活が子供たちにとってより良いものとなるように、教育委員会と学校において様々な取り組みを行います。

学習環境では、児童のかかわる力を育てるための「たくましく生きる力育成プログラム※」の活用や、休み時間・放課後の学習支援、家庭学習への支援、相談体制の構築などを行います。

友達関係構築のためには、友達づくりを中心とした学級活動や縦割り活動に取り組むほか、児童一人一人と先生が面談する週を設けます。

子供たちの通学は、スクールバスを運行し、安全安心な通学手段を確保します。下校時にはスクールバスの待ち時間を利用して、他の地区の児童と関われる居場所を設けるなど、友達づくりのための工夫をします。

※仙台市教育委員会で推進している学習プログラムです。児童生徒に応じて授業プランを選択して実施することで、変化の激しい社会をたくましく生きるための力や知恵を育成することを目標としています。

地域コミュニティと学校統合

学校が統合すると、地域活動によっては運営の仕方などの再検討や調整が必要となります。

統合した場合に、これまで通りの地域活動が継続できるように、他の自治体での学校統合と地域活動の事例についての国の機関の研究を紹介しました。

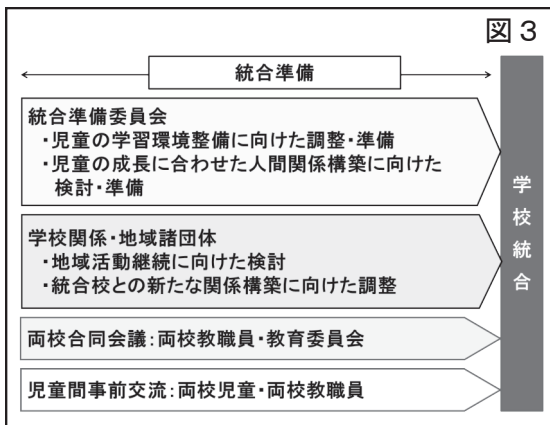
その研究によると、地域活動継続のためには、「保護者や地域住民が地域活動の意義や目的を再確認して理解し合うこと」「地域住民同士や、統合校と地域が新たな関係を構築すること」などが大切という内容でした。

作並・新川地域の地域活動

図2は、現在の作並・新川地域の主な地域活動の内容です。図3では、統合準備期間に各団体において検討や調整、準備が必要となる主な内容を示しています。

地域行事のうち学校や分校が会場となっているものについては、引き続き地域の皆さんが利用できるようにします。

学校とこれまでの地域活動		図2
作並小学校	<ul style="list-style-type: none">作並小学区大運動会作並小学区盆踊り歩け歩け大会	
新川分校	<ul style="list-style-type: none">新川ほたるの里宵まつり新川体育祭分校土曜日図書開放	
その他の会場	<ul style="list-style-type: none">作並かっぱまつり日本ことば遊び回文コンテスト・交流大会育成会スポーツ大会 など	



これまで学校が運営に携わっていた地域活動については、学校統合後も円滑に活動を継続できるように、運営体制や運営費、学校や地域諸団体等との関わりなどを整理し、統合までの準備期間の中で調整していきます。

2. 意見交換の主な内容

教育環境について

地域委員：今度の学習指導要領の改訂※で、友達との話合いや協力を重視する教育に変わっていくため、人数の少ない作並の子たちだけが取り残されていくのではないかと不安がある。統合して人数が増えれば、教育面での不安も少しは解消されると思う。

教育委員会：これからは、自分の考えを相手に伝わるように話をして、複数の相手の考えを聞き理解し、さらに自分の考えや表現について再検討して表現したり、友達と協働で問題を解決したりする教育が今まで以上に求められることとなります。

※平成32年度の学習指導要領改訂により、児童生徒が生涯にわたって能動的に学び続けられるよう、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を行うこととなります。

学校が統合することについて

地域委員：地域住民はみんな教育に一生懸命で、統合は簡単に決められる問題ではない。もう少し地区の人の話を聞かなければ。

地域委員：子供たちの可能性を広げるため、サッカーや野球など人数が必要なスポーツをできる機会を子供たちに与えてほしい。

地域委員：地域コミュニティのためには学校が必要だが、やはり子供が第一と考えるべき。

地域委員：「早く統合して欲しい」という話もあるが、最終的に統合するのは3年後になるのか？

教育委員会：統合が適当との判断に至った場合、早ければ2年後になります。子供にとって急激な変化にならないよう、統合先の学校との事前交流を行うほか、作並小学校の歴史や伝統などを統合先の学校と融合させるため、準備期間を1年間設けたいと考えております。

地域委員：統合した場合、通学手段はどうなるのか。

教育委員会：通学については、スクールバスを考えています。

地域組織について

地域委員：小学校が閉校すると、体育振興会も解散となってしまいます。これまで作並体振で行ってきた事業について、統合先の体振で取り組むのか、各町内会単位、連合町内会単位での事業に切り替えるのか整理が必要。

教育委員会：統合先である学区の体育振興会の支部として残し、活動を継続している地域もあります。

地域委員：連合町内会や子供会育成会の存続はどうなるのか。

教育委員会：連合町内会や育成会などの組織や活動は、小学校区に一つと限定されていないので、統合後も存続できます。

跡施設について

地域委員：跡施設がどうなるのか、維持管理や運営体制について具体的な話を聞きたい。

教育委員会：仙台市としてどのように活用していくか検討が必要となりますが、統合が決定していないため検討は始めておりません。教育委員会としては、引き続き地域の皆さんが利用できるようにします。

地域委員：跡施設の利活用について、地域の要望があれば出して良いか。

教育委員会：地域の要望と、市の利活用の考え方を調整しながら決定してまいります。

3. 次回の懇談会について

(1) 日時 平成30年11月14日(水) 18:30~20:00

(2) 会場 作並小学校 2階 会議室

(3) 内容 今後の作並小学校の方向性について

(4) 傍聴について

- ① 懇談会開始10分前までに受付(1階昇降口)へお越しください。
- ② 委員の協議により、一部非公開となる場合がございます。
- ③ 傍聴に関して守っていただくルールがございます。

仙台市教育局 学校規模適正化推進室

住所：仙台市青葉区上杉一丁目5-12 上杉分庁舎11階

TEL：022(214)8432 FAX：022(264)4428 Mail：kyo019031@city.sendai.jp